

図書・資料室だより



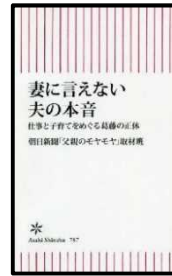
『夫婦という病
夫を愛せない妻たち』
岡田尊司 // 著
河出書房新社 2016年
パートナーとの関係に悩む人に、結婚を人生の墓場にしないため、自分にふさわしい家族の形とはどんなものなのかを、夫・妻の思考や行動のパターンを21のケースに分けて考える、傷んだ愛の処方箋です。



『夫婦幻想
子あり、子なし、子の成長後』
奥田祥子 // 著
筑摩書房 2019年
仕事に「活躍」する妻と「イクメン」夫、子どもをもたない「恋人夫婦」、そんな理想の夫婦像はすでに「幻想」なのか。本作は男女一人ひとりに長期的に取材を重ね、厳しい現実にも真摯に向き合いながら、折り合いをつけて前向きに夫婦の明日を見つめるルポルタージュです。



『ふたりは同時に親になる
産後の「ずれ」の処方箋』
狩野さやか // 著
猿江商會 2017年
終わることなき保活やワンオペ育児に忙殺される「あきらめママ」、そんなママの理解不能な不機嫌に「無関係パパ」の心のカラクリを解き明かし、ふたりで笑って一緒に育児ができるためのヒントを記します。



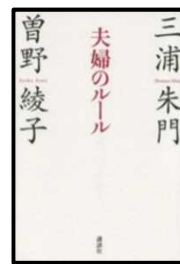
『妻に言えない夫の本音
仕事と子育てをめぐる葛藤の正体』
朝日新聞「父親のモヤモヤ」取材班 // 著
朝日新聞出版 2020年
「イクメン」という言葉ができてから10年。家庭で夫として親として役割を果たしたいと子育てに関わり始めた父親たちが、職場で家庭で社会で感じているモヤモヤの正体を明らかにし、子育てがしやすい社会の理想像に迫ります。



夫婦関係



『4タイプでわかる
心が折れそうな夫のためのモラハラ妻解決BOOK』
高草木陽光 // 著
左右社 2019年
「これってモラハラ?」「ガマンするしかない?」と妻との関係に悩む夫のために、妻の行動原理と性格を分析し、付き合い方を解説し、問題解決の方法を伝授します。



『夫婦のルール』
三浦朱門 / 曾野綾子 // 著
講談社 2014年
90歳と85歳の作家夫婦が、「夫婦は他人」「わかりあえないから面白い」と、人間関係と人生の極意を明かします。妻の文句は「アイ・ラヴ・ユー」、「これくらい我慢しよう」は夫婦の愛情、夫婦げんかは夫が勝ってはいけない、など絶妙な夫婦関係が語られます。



『妻のトリセツ』
講談社 2018年
『夫のトリセツ』
講談社 2019年
『定年夫婦のトリセツ』
SBクリエイティブ 2019年
黒川伊保子 // 著



『皿洗いの、どっち?』
目指せ、家庭内男女平等!』
山内マリコ // 著
マガジンハウス 2017年
食事の後山積みの汚れた皿に湿々スポンジを握る妻、その横でテレビを見て笑い声をあげる夫…結婚とはハッピー、それとも地獄なのか? 男の実態、女の言い分を、30代女子の人気作家が痛快にレポートします。

さんかく☆ミニ講座

男女共同参画に関する言葉や数字を紹介します。

2535

令和3年10月31日に行われた衆議院選挙は、「政治分野の男女共同参画推進法」施行後、初の衆議院選挙でした。

全候補者1051人のうち、女性候補者は186人、割合にして17.7%でした。当選者465人のなかで女性は45人で全体のわずか9.7%でした。

政府は2025年までに国政選挙の女性候補者割合を35%とする目標をかかげています。

参考：総務省 HP
第5次男女共同参画基本計画



男女共同参画絵本を紹介

G-NET シネマ

『NOELノエル～星降る夜の奇跡～』(字幕作品)

2004年/アメリカ/92分

喧噪に包まれるクリスマスイブのニューヨーク。一見明るくきらびやかな街中ではあるが、心の痛みを抱きしめながら孤独な夜が去っていくのを息をひそめて待つ人々もいた。そんな彼らに起こるささやかだけれど温かい愛の奇跡。

12月18日(土) 13:30～ 視聴覚室

〈参加無料&申込不要〉



『こまるなあ おとうさん』

メイール・シャレヴ // 文
ヨスイ・アブルアフィヤ // 絵
いぬいゆみこ // 訳
アスラン書房 1994年

図書・資料室 ご利用案内

- 開室時間 9:00～17:00
- 12月の休室日
5日～7日、13日、20日、
27日～31日
- 貸出(本・雑誌) 15冊 3週間まで
(DVD) 2本 1週間まで
- お問い合わせ先(電話)
0748-37-3735(図書・資料室直通)
0748-37-3751(センター代表)
※新型コロナウイルスの感染拡大防止対策のため、休室日については変更になることがあります。



おかあさんはかっこいいテレビのレポーター、おとうさんは家で小説を書いているだけ。そして大声で歌ったり、いってきますのキスをせがんだり、僕がこまるようなことばかりする。ケーキコンテストで、他のおかあさんたちが色とりどりのおいしいようなケーキを出す中、おとうさんは茶色いタイヤのようなケーキで…でもおとうさんがナイフで切ろうとしたら、それは…!!